

平成 20 年 4 月 18 日

文化庁

国宝・重要文化財（建造物）の新指定について

文化審議会（会長 石澤 良昭）は、平成 20 年 4 月 18 日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに 1 件の重要文化財を国宝に、10 件の建造物を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。この結果、近日中に行われる官報告示を経て、重要文化財（建造物）は、2,338 件、4,235 棟（うち国宝 214 件、262 棟を含む。）となる予定です。

◎今回の答申における特筆すべきもの

【国宝】 青井阿蘇神社 本殿ほか 熊本県人吉市

特異な建築的發展を遂げた球磨地方を代表する神社建築で、顕著な地方的特色と洗練された装飾を併せもつ。その造形は、広く南九州地方の近世神社建築に影響が認められ、わが国の近世社寺建築の發展において重要な位置付けをもち、価値が高い。

【重要文化財】 シャトーカミヤ旧醸造場施設 事務室ほか 茨城県牛久市

本格的ワイナリーとして創設された醸造施設である。明治中期の煉瓦造建築としての歴史的価値が高く、また当時のワイン醸造方式を理解するうえで、産業技術史における価値も高い。

（お問い合わせ）

文化庁文化財部参事官（建造物担当）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-2792（直通）

参事官 大和 智 （内線 2790）

調査部門 坊城，武内，北河（内線 2793）

〈個別解説凡例〉

番号 特 徴 （年代区分／種類別）

名 称 員 数

複数棟指定の場合の建造物の名称、土地* 等 （*建造物と一体をなして価値を形成している土地をあわせて指定するもの。）

所 在 地

所 有 者

【国宝の部】

華やかな装飾で彩られた社殿群（近世以前／神社建築）

あおいあそ
青井阿蘇神社 5棟

ろう 本殿, ろうもん 廊, 幣殿, 拝殿, 楼門

熊本県人吉市

青井阿蘇神社

青井阿蘇神社は、中世以降、領主相良氏の崇敬を受けた。現在の社殿は慶長15年（1610）より同18年に建てられ、境内の奥に本殿から拝殿が連続して建ち、前方に楼門が建つ。

社殿は黒漆塗を基本とし、本殿と幣殿は、随所に優れた彫刻や鍔金具^{かざり}などが配される。また楼門は本格的な禅宗様式である。

青井阿蘇神社の社殿は、中世球磨地方に展開した独自性の強い意匠を継承しつつ、桃山期の華やかな意匠を機敏に摂取しており、完成度も高く、近世球磨地方における社寺造営の規範となっている。また、彫刻技法や特異な幣拝殿形式などは、広く南九州地方にその影響が認められるもので、わが国の近世神社建築の発展において重要な位置を占め、文化史上、深い意義をもつ社殿である。

○指定基準＝重要文化財のうち極めて優秀で、かつ、文化史的意義の特に深いもの



楼門 拝殿 幣殿



本殿正面

【重要文化財の部】

① 最初期の本格的ワイン醸造所施設（近代／産業・交通・土木）

シャトーカミヤ旧醸造場施設 3棟

事務室、^{はっこうしつ}醗酵室、貯蔵庫

茨城県牛久市

オエノンホールディングス株式会社

シャトーカミヤ旧醸造場施設は、神谷伝兵衛が創設したワイン醸造施設で、現存する事務室、醗酵室、貯蔵庫は明治36年9月竣工とみられる。



本施設は、明治中期の本格的な煉瓦造ワイン醸造所の主要部がほぼ完存しており、高い歴史的価値がある。とりわけ醗酵室は、各階ごとに配された設備構成等から当時のワイン醸造工程を窺うことが可能であり、産業技術史上も重要である。また事務室は、シャトーを名乗るに相応しい意匠を有し、明治中期の煉瓦造建築の意匠水準を計るうえでも価値が高い。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

② 昭和初期の代表的な博物館建築（近代／文化施設）

旧東京科学博物館本館 1棟

東京都台東区

独立行政法人国立科学博物館

旧東京科学博物館本館は、東京博物館の震災復興施設として建設され、昭和6年9月に竣工した。設計は文部省大臣官房建築課で、文部技師^{かすやけんぞう}糟谷謙三が担当した。



本館は飛行機型の平面をもち、構造は、鉄筋コンクリート造を基本とし、地上3階、一部4階、地下1階建である。

内部には、展示室のほか、映写室付きの講堂や赤道儀室を備えており、我が国最初の本格的な社会教育施設としての博物館建築として、高い歴史的価値がある。また均整のとれた立面構成とともに、中央広間・貴賓室・館長室・講堂など室内意匠の密度も高く、震災復興期における文部省営繕の設計水準を示す建築作品として重要である。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

③ 金沢城内に建つ大規模土蔵（近世以前／城郭建築）

金沢城土蔵（鶴丸倉庫） 1棟

石川県金沢市

石川県

金沢城土蔵は、金沢城本丸の北側に、嘉永元年（1848）に建築された大型土蔵で、鶴丸倉庫とも呼ばれている。

土蔵造2階建、切妻造、棧瓦葺で、もとは武具蔵として建てられ、加賀藩大工山本勝左衛門が普請を手がけた。

金沢城土蔵は、広大な内部空間を有し、腰の石張など金沢城の土蔵に特徴的な技法も併せ持っている。また城郭内に現存する近世の土蔵として希少な遺構であるとともに、武具蔵という用途が明らかで、なおかつ、その機能に則した造作がみられる点においても、高い価値が認められる。

○指定基準＝学術的価値の高いもの



④ 福井藩大工による、藩主菩提所としての禅宗伽藍（近世以前／寺院建築）

^{だいあんじ}
大安寺 5棟

本堂, ^{くり}庫裏, ^{かいざんどう}開山堂, ^{かいきどう}開基堂, ^{しょうろう}鐘楼

福井県福井市

大安寺

大安寺は、福井市郊外に所在する臨済宗寺院で、万治元年（1658）、福井藩四代藩主松平光通^{みつみち}が創建した。

境内の中心に本堂と庫裏が並び、その周囲に開山堂、開基堂、鐘楼などが建つ。

これらの中心建物は、創建以降断続的に、福井藩によって建てられた。

大安寺は、大型の方丈型本堂をはじめ、庫裏や開山堂など禅院の主要建築を有するほか、開基堂や^{びょうしよ}廟所など、藩主の菩提所として江戸前期から中期にかけて造営された壮観な伽藍が、良好に保存されている。また各建物の意匠も優秀で、福井藩大工の高い力量を示しており、重要である。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



⑤ 中世仏堂の遺構である阿弥陀堂を擁する浄土宗伽藍（近世以前／寺院建築）

^{さいふくじ}
西福寺 3棟

^{みえいどう} 御影堂, ^{あみだどう} 阿弥陀堂, 書院及び庫裏

福井県敦賀市

西福寺

西福寺は敦賀市西郊に所在する浄土宗寺院で、阿弥陀堂は文禄2年（1593）の建立、御影堂は文化5年（1808）の上棟になる。また書院が天和3年（1683）に建てられるなど、近世を通じて伽藍が整えられた。



西福寺御影堂と阿弥陀堂は、ともに浄土宗本堂の典型的平面をもち、御影堂は寺格に相応しい宏壮華麗な堂で、阿弥陀堂は浄土宗寺院の阿弥陀堂として古例であり、静謐な空間をもつ。また、これらの仏堂と書院及び庫裏は、庭園と一体となって豊かな風致を創出しており、高い価値が認められる。

○指定基準＝学術的価値の高いもの

⑥ 大正期の代表的木造ハリストス教会聖堂（近代／宗教建築）

^{せいきょうかいせいし と ふくいんしゃマトフェイせいどう}
豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂 1棟

愛知県豊橋市

豊橋ハリストス正教会

豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂は、大正2年12月に竣工した。

平面は、西から東へ、^{けいもうしょ} 玄関、^{せいしょ} 啓蒙所、^{しせいしょ} 聖所、至聖所を一直線に並べる、ハリストス正教会聖堂に共通する形式である。

豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂は、ハリストス正教会聖堂の定型的な平面構成をもつとともに、我が国における木造ハリストス正教会聖堂の完成型の建築構成と細部意匠をもつことで、高い歴史的価値がある。また本聖堂が、我が国ハリストス正教会の司祭建築家^{かわむらいぞう}河村伊蔵の設計と推測できる点においても重要である。



○指定基準＝歴史的価値の高いもの

⑦ 鎮守府創設時に整備された一連の煉瓦倉庫（近代／その他）

舞鶴旧鎮守府倉庫施設 7棟

舞鶴海軍兵器廠魚形水雷庫、

舞鶴海軍兵器廠予備艦兵器庫、

舞鶴海軍兵器廠彈丸庫並小銃庫、

舞鶴海軍兵器廠雜器庫並預兵器庫、

舞鶴海軍需品庫需品庫（3棟）、

土地

京都府舞鶴市

国（財務省），舞鶴市，舞鶴倉庫株式会社

舞鶴鎮守府は明治34年に開庁され、魚形水雷庫、予備艦兵器庫、彈丸庫並小銃庫、雜器庫並預兵器庫の4棟は、舞鶴海軍兵器廠の武器倉庫として、需品庫3棟は、舞鶴海軍需品庫の需品倉庫として、開庁後明治36年までに建設された。

舞鶴旧鎮守府倉庫施設は、海軍舞鶴鎮守府開庁時に整備された倉庫施設であり、海軍鎮守府の施設構成を理解するうえで重要で、設計図書等が完存していることも貴重である。また舞鶴海軍兵器廠魚形水雷庫は、現存最古級の鉄骨造建築であり、建築技術史上の高い価値がある。

○ 指定基準＝歴史的価値の高いもの



⑧ わが国の近代分流施設の規範（近代／産業・交通・土木）

淀川旧分流施設 2所

毛馬洗堰、毛馬第一閘門

大阪府大阪市

国（国土交通省）

淀川旧分流施設は、内務省による淀川改良工事として、土木監督署技師沖野忠雄の計画に基づき、建設された。

毛馬洗堰は、明治43年1月の竣工になり、延長18.4mの煉瓦造及びコンクリート造構造物で、翼壁を附属する。また毛馬第一閘門は、明治40年8月竣工になり、長さ105.7m規模の煉瓦造及びコンクリート造構造物で、閘室、閘頭部、閘尾部よりなる。

淀川旧分流施設は、わが国最初期の高水工事であるとともに、初めて大型建設機械を導入して実施された淀川改良工事の代表的遺構として、近代河川史上、高い価値がある。

○ 指定基準＝歴史的価値の高いもの



⑨ ド・ロ神父の指導による巡回教会堂（近代／宗教建築）

大野教会堂 1棟, 土地

長崎県長崎市

カトリック長崎大司教区

大野教会堂は、大浦天主堂から外海地区の主任司祭として赴任したマルク・マリ・ド・ロ神父が、明治26年に建設した巡回教会である。



教会堂は、会堂部と司祭室部からなり、会堂部の周囲に、割石を漆喰で固めた「ド・ロ壁」と呼ばれる壁体を築き、小屋は木造キングポストトラスとする。

大野教会堂は、数少ない巡回教会の遺構例であり、巡回教会の規模、会堂構成を知るうえで高い歴史的価値が認められる。また、「ド・ロ壁」、キングポストトラスなど、ド・ロ神父の建築技法が典型的に示されており、重要である。

○ 指定基準＝歴史的価値の高いもの及び流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑩ 鉄川与助の設計施工による木造教会堂（近代／宗教建築）

江上天主堂 1棟

長崎県五島市

カトリック長崎大司教区

江上天主堂は大正7年の建築で、鉄川与助の設計・施工になる。



建物は、木造下見板張、切妻造棧瓦葺の三廊式教会堂で、玄関は身廊部の内側に設け、祭壇部の左右に香部屋を配し、廊下で繋ぐ。

江上天主堂は、重層屋根構成、内部三層構成の木造教会堂であり、我が国における木造のカトリック教会堂建築のうち完成度の高い作品として、歴史的価値を有する。また、長崎県を中心に多くのカトリック教会堂を手がけた鉄川与助の代表的木造教会堂建築としても重要である。

○ 指定基準＝歴史的価値の高いもの及び流派的又は地方的特色において顕著なもの

(平成20年4月答申)

国 宝（ 建 造 物 ） 指 定 数

	種 類 別	現在指定数		新規指定		合 計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近 世 以 前 の 分 類	神 社	36	58	1	5	37	63
	寺 院	154	160	—	—	154	160
	城 郭	8	16	—	—	8	16
	住 宅	12	20	—	—	12	20
	民 家	0	0	—	—	0	0
	そ の 他	3	3	—	—	3	3
	合 計	213	257	1	5	214	262

重 要 文 化 財（ 建 造 物 ） 指 定 数

	種 類 別	現在指定数		新規指定		追加	合 計	
		件数	棟数	件数	棟数	棟数	件数	棟数
近 世 以 前 の 分 類	神 社	562	1,153	—	—	—	562	1,153
	寺 院	843	1,103	2	8	—	845	1,111
	城 郭	52	234	1	1	—	53	235
	住 宅	94	150	—	—	—	94	150
	民 家	338	746	—	—	—	338	746
	そ の 他	192	262	—	—	—	192	262
	小 計	2,081	3,648	3	9	—	2,084	3,657
近 代 の 分 類	宗 教	20	22	3	3	—	23	25
	住 居	63	208	—	—	—	63	208
	学 校	38	65	—	—	—	38	65
	文 化 施 設	29	37	1	1	—	30	38
	官 公 庁 舎	20	25	—	—	—	20	25
	商 業 ・ 業 務	18	23	—	—	—	18	23
	産 業 ・ 交 通 ・ 土 木	55	172	2	5	—	57	177
	そ の 他	4	10	1	7	—	5	17
小 計	247	562	7	16	—	254	578	
合 計	2,328	4,210	10	25	—	2,338	4,235	